

かげはし

じょうえつ市議会だより Joetsu City Council
Newsletter "KAKEHASHI"

2025
令和7
春号

No.227 3月議会

3月 6月 9月 12月

Special Feature

中川幹太市長 任期最後の予算編成！

上越市の未来は…

TOPIC 01

市議会ってどんなところ？
小中学生の議会学習

…2 P

TOPIC 02

令和7年度の予算を審議
3月定例会

…4 P

TOPIC 03

市民×議員
5月に意見交換会を開催

…裏表紙



上越市議会
ホームページ

市議会ってどんなところ？

小学5・6年生、中学生を対象に実施している議会学習。令和6年度もたくさんの方の児童・生徒の皆さんが議会について学びました。令和7年度も実施しますので、申込みをお待ちしています。



議場の見学



議員と集合写真



議会の仕組みの学習



議会図書室の見学



委員会室の見学

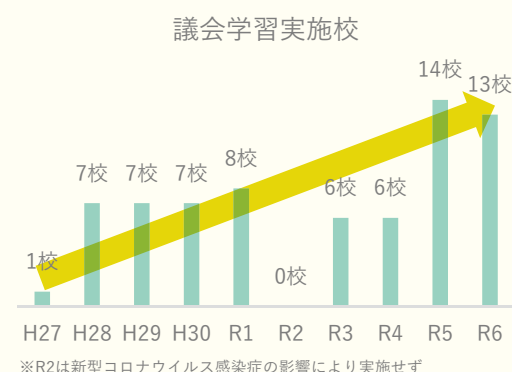


応接室の見学

小中学生の皆さんに、市議会の仕組みや、議員の仕事などについて知ってもらうため、議会学習を実施しています。この取組は、平成27年度から実施しており、令和6年度で10年目を迎えました。令和6年度は、13校、約400人の児童・生徒の皆さんからご参加いただきました。ありがとうございました！

【事前学習】

議会学習の前に、議会から各学校へ事前学習のための資料を送っています。また、議会学習当日、議員に直接質問したい内容を考えてから、議会学習に臨んでもらっています。



【議会フロア見学】

議場や委員会室、議長室、応接室などの議会フロアを見学します。普段なかなか入る機会がないところなので、「議会って言葉は聞いたことがあるけど、ここのことだったんだ！」と驚く生徒も。応接室に入って「校長室と似てる！」だったり、議場の議員の椅子に座って「ふかふか！」だったりと、目をキラキラ輝かせて見学してくれます。

【いくつかの感想を紹介します】

議員の人と初めて話しました。議員は私たちに身近な存在なんだと知りました。(小学6年生)

誰か他の人のために頑張るのはすごいと思いました。いつか私も誰かの役に立つような仕事がしたいと思いました。(中学3年生)

議員が「一緒によりよい上越市をつくっていきましょう」と言っていたのを聞いて、自分たちもできることがたくさんありそうだと思います。(中学3年生)

【本会議の傍聴】

本会議開会中に、議場の傍聴席から議員と市長等との真剣なやり取りを見学します。小中学生の皆さんは緊張した面持ちで議員の発言に耳を傾けます。

【市議会の流れの学習】

議会の仕組みや、議員がどうやって話し合いを進めているかなど、資料を使って学習します。小中学生の皆さんは、たくさんメモを取りながら学習します。

【議員への質問タイム】

議員を目指した理由や、日頃どんな仕事をしているかなど、子どもたちの疑問に議員が答えます。小中学生ならではの素朴な疑問から鋭い質問まで、多岐にわたる質問に、議員がタジタジになる場面もあります。

- どうして議員になろうと思ったんですか？
- 議員になるためには、何か資格が必要ですか？
- 上越市の1番の課題は何？
- 給食費を無償化してほしい！

自分たちは、上越市の未来を担う世代なので、活気ある上越市であるために、何ができるのか考えていかなければならないと思いました。(中学3年生)

生徒たちは、議員がどのような思いで仕事に向き合っているのかを直に聞くことで、上越市の課題や目の前の問題に、考えを巡らせているようでした。実際に議長席などに座らせていただき、楽しみながら学びを深める充実した時間となりました。(先生)

special Thanks,

令和6年度 実施校

上下浜小学校	6年生
高志小学校	6年生
和田小学校	6年生
大湊小学校	6年生
豊原小学校	6年生
清里中学校	3年生
三和中学校	3年生
大和小学校	6年生
稲田小学校	6年生
黒田小学校	6年生
国府小学校	6年生
清里小学校	6年生
潮陵中学校	3年生

上杉謙信公愛刀の国宝「山鳥毛」特別展示

第100回謙信公祭に合わせ、上杉謙信公が愛用していた刀で国宝の「山鳥毛」を市内で展示するための予算案が提案されました。

- 岡山県瀬戸内市から借用する
- 歴史博物館で展示する予定
- 予算額：1,009万円



■ 議員のQ&市のA ■

Q 歴史博物館は国宝を展示するための条件をクリアしているのか。

A 展示環境の条件はクリアしており、文化庁の許可もいただいている。



刃文が華やかで美しく、まるで山鳥の羽毛に似ていることから山鳥毛と呼ばれるようになったという説があります。

イノシシやクマなどによる人身被害対策

令和7年に入って多数発生しているイノシシ被害を踏まえ、イノシシやクマなどによる人身被害を防止するための予算案が提案されました。

- 予算額：601万円

■ 議員のQ&市のA ■

Q 今回の人身被害にどう対応したのか。

A 速やかに市民に注意喚起した。



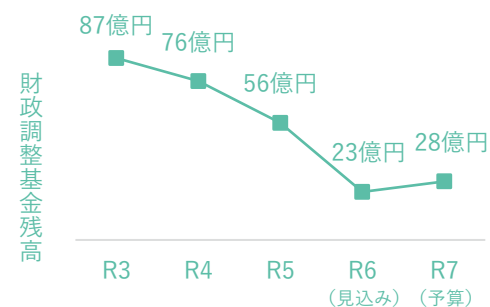
遭遇時に最も重要なことは、刺激しない、距離をとる、逃走経路を絶たないことです。

議員のQ & 市のA

総括・委員会質疑
議会は議案のここに注目！

財政調整基金

財政調整基金＝市の貯金：財源に余裕があるときに積み立てておき、災害などで財源不足が生じたときに使います。



■ 議員のQ&市のA ■

Q 令和7年度末の基金残高を28億円と見込んでいるが、充分なのか。

A 今後の災害を想定すると安心できない。危機感を持って残高を確保していく。

道路陥没防止のための路面下空洞調査

市道の陥没事故を未然に防ぐため、主要路線において路面下の空洞等を調査する予算案が提案されました。

- 予算額：1,144万円

■ 議員のQ&市のA ■

Q どのように空洞を調査するのか。

A 路面にレーダーを照射して検出する。

Q 調査をする路線はどこか。

A 片側1車線以上で特に大型車両の通行量が多い路線、バス路線などの主要路線である。



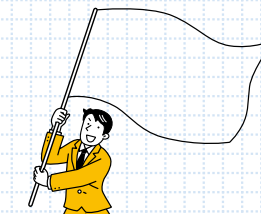
空洞探索車

令和7年度予算などを審議する

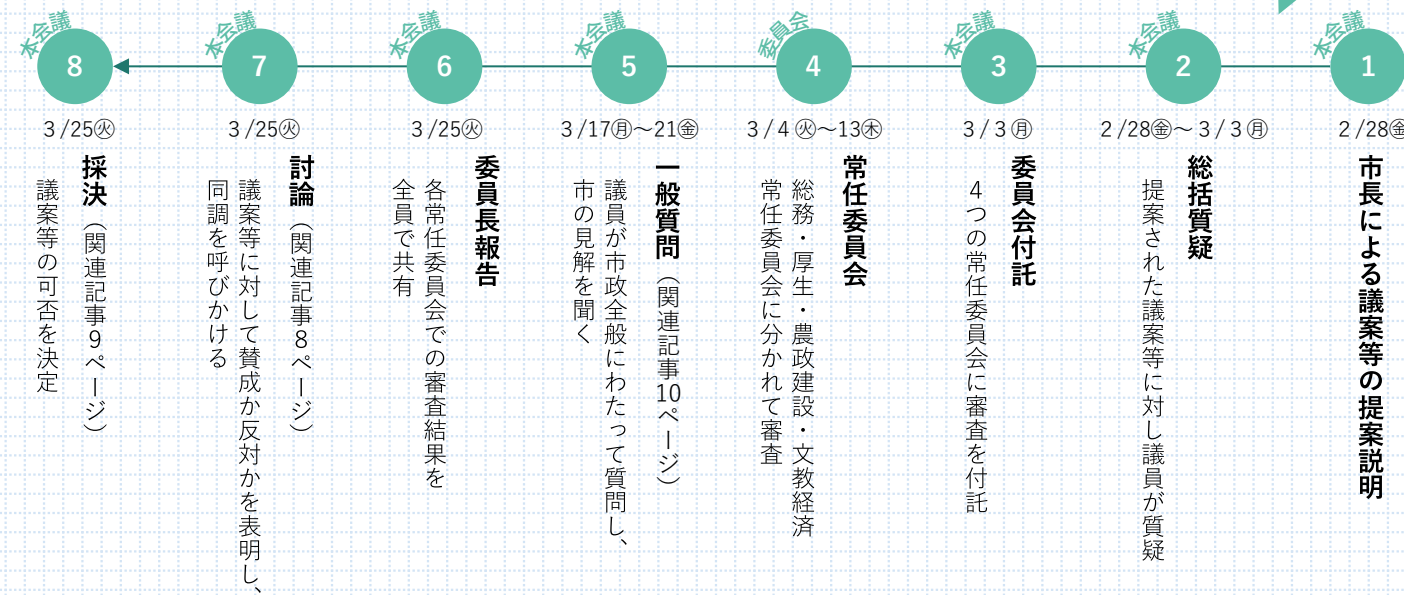
3月定例会

予算議会

3・6・9・12月に開催される定例会のうち、3月定例会の内容をお届けします。3月定例会は、主に新年度の予算を審議する“予算議会”と称されており、事業の計画や方針などについて審議しました。

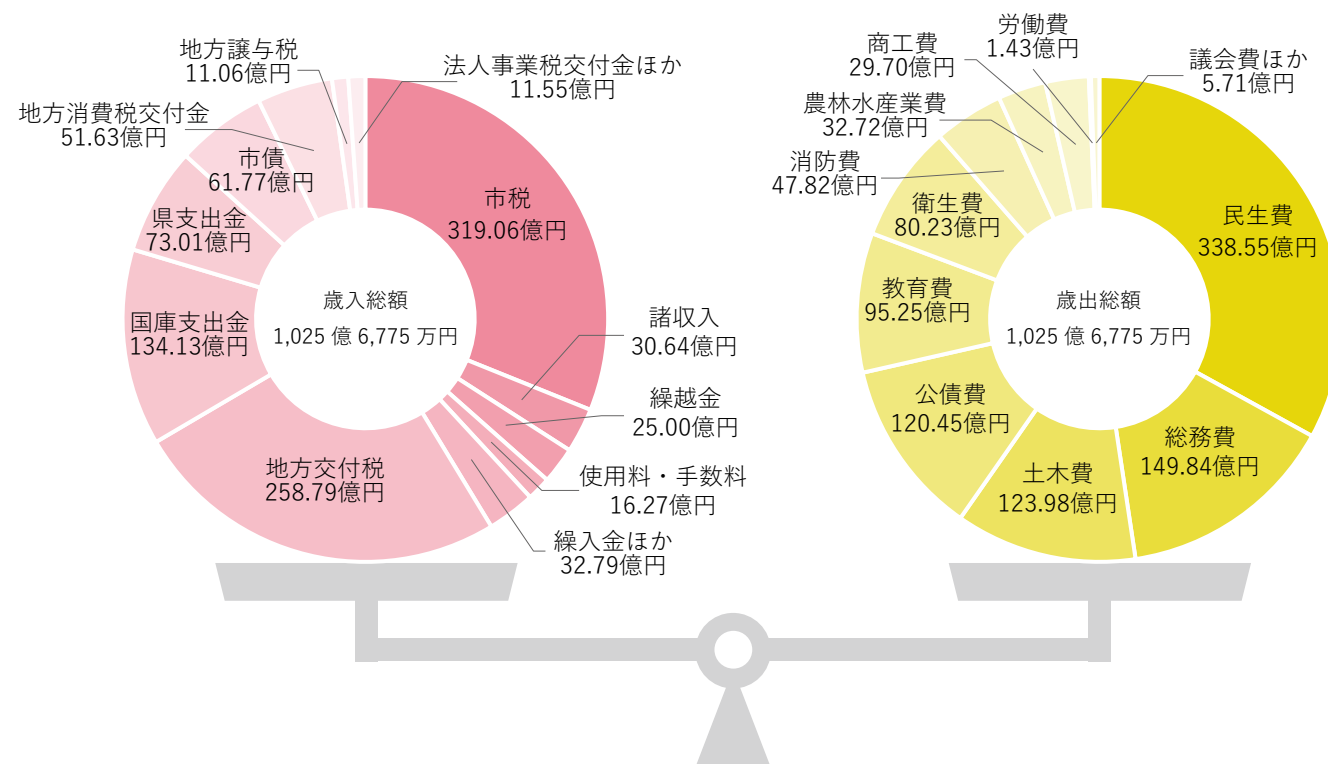


3月定例会の流れ

令和7年度
予算

市民1人当たり57万円の一般会計

1,026億円はどう使う？





センター病院改築スケジュールの見直しについて

市は、令和 6 年 12 月定例会において、センター病院の改築を 2 年先送りすると公表しました。

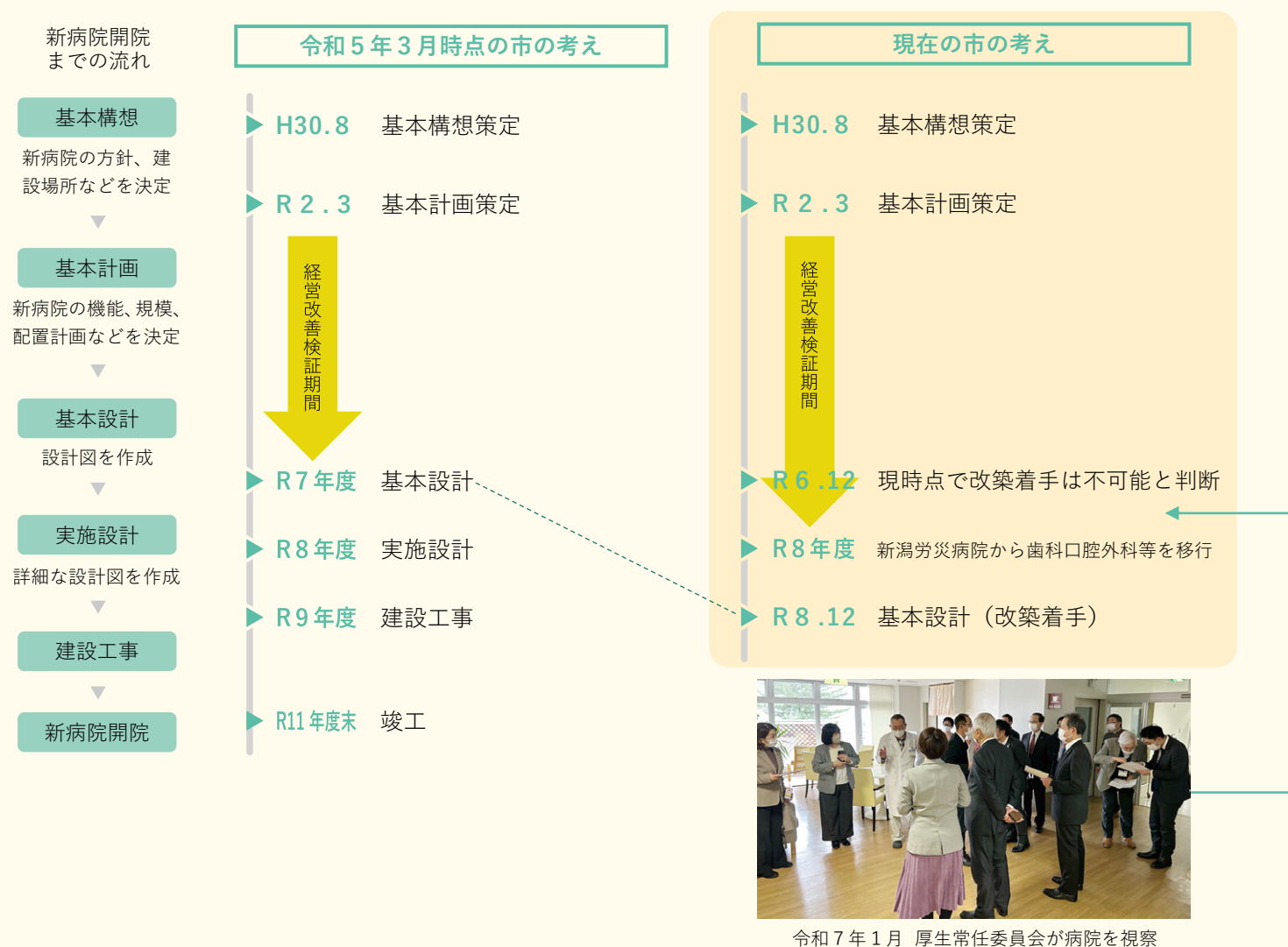
- 理由
1 病院の収支状況が長期間大幅な赤字傾向にある。
- 理由
2 国の診療報酬改定が全国的に病院の経営悪化の要因となっている。
- 理由
3 上越地域における地域医療構想の議論の動向を見定める必要がある。



地域医療構想とは

少子高齢化が進んでいる今、医療や介護を支える人材の確保が重要となっています。また、将来を見据えながら、医療や介護の提供体制を整備することも喫緊の課題です。そのため、将来の医療提供体制に関する構想として「新潟県地域医療構想」が策定され、新潟県の各地域で構想を推進するための議論が進んでいます。

これまでの経過と今後のスケジュール



05

上越地域医療センター病院

上越地域医療センター病院の施設について、老朽化が進み、早期の改築が必要であることから、地域医療構想の議論、病院の経営環境の変化、病院改築後の収支見通しを踏まえつつ、基本設計に向けた準備を進めるための予算案が提案されました。

- 経営改善の予算額：1,036 万円
 - ・ 安定的な病院運営を維持できるよう、病院の経営分析と収支改善に向けた取組を実施
- 改修等の予算額：5 億 7,749 万円
 - ・ 新潟労災病院の歯科口腔外科及び回復期リハビリテーション機能の一部をセンター病院に移行するための改修事業を実施
 - ・ 院内環境の整備として、空調設備の更新、ネットワーク環境の強化等を実施



■ 議員の Q & 市の A ■

- Q 12 月定例会では、2 年後には改築に着手すると言及したが、間違いはないか？
- A 遅くとも 2 年後には改築（基本設計）に着手する。
- Q 基本設計に向けた準備を進めるとあるが、その内容は？
- A 改築後の安定経営の見通しを立てるため、センター病院の経営改善に取り組むものである。

- Q 院内環境の整備とは、具体的にどのようなものか。問題点は解消されるのか。
- A 空調設備の更新や気密性を高める建具改修、ボイラー設備の修繕等を行う。
なお、院内環境の整備については、病院の声を聞きながら、毎年予算を計上してきたが、改築を延期することから、改めて修繕が必要な箇所を洗い出して早急に対応した。残りの箇所は令和 7 年度予算で対応する。

07

高校生等への通学定期券購入費の補助

- 公共交通の運賃が値上げされる中、高校生等の通学に係る経済的負担を軽減するための予算案が提案されました。
- 予算額：1,320 万円
 - 対象者：月 1 万円以上の通学定期券を、年度内に 6 か月分以上利用した人

■ 議員の Q & 市の A ■

- Q 市内のバスや鉄道全ての定期券が対象となるのか。
- A 北陸新幹線や高速バス、特急列車も含めた全ての公共交通機関が対象となる。
- Q 市内在住の高校生等が、市外へ通学する場合も対象となるのか。
- A 対象となる。



06

公共施設照明の LED 化

- 省エネや二酸化炭素排出量削減を図るため、公共施設の照明を LED 化する予算案が提案されました。
- 予算額：6 億 8,331 万円
 - LED 化によって、二酸化炭素排出量が年間 170 t 削減される見込み。
 - 令和 7 年度は、改修を行う施設や照明の電気使用量が多い施設などを優先する。

■ 議員の Q & 市の A ■

- Q LED 化する施設はどこか。
- A 文化会館、市民プラザ、板倉コミュニティプラザ、春日新田・高田西小、汚泥リサイクルパーク、市道、高田城址公園など。



審

議我

結

果

◎：全員賛成で可決 ○：賛成多数で可決 ×：賛成少数で否決

件 名	審議 結果	件 名	審議 結果
議案第 1 号 令和 6 年度上越市一般会計補正予算（第 7 号）※ 1 月臨時会で議決	◎	議案第32号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	◎
議案第 2 号 令和 6 年度上越市下水道事業会計補正予算（第 3 号）※ 1 月臨時会で議決	◎	議案第33号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	◎
議案第 3 号 令和 6 年度上越市ガス事業会計補正予算（第 3 号）※ 1 月臨時会で議決	◎	議案第34号 上越市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	◎
議案第 4 号 令和 6 年度上越市水道事業会計補正予算（第 3 号）※ 1 月臨時会で議決	◎	議案第35号 上越市児童館条例の一部改正について	◎
報告第 1 号 専決処分した事件の承認について（令和 6 年度上越市一般会計補正予算（専第 3 号））※ 1 月臨時会で議決	◎	議案第36号 上越市若竹寮条例の一部改正について	◎
議案第 5 号 令和 7 年度上越市一般会計予算	○	議案第37号 上越市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び上越市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	◎
議案第 6 号 令和 7 年度上越市国民健康保険特別会計予算	○	議案第38号 上越市水道事業給水条例の一部改正について	◎
議案第 7 号 令和 7 年度上越市診療所特別会計予算	◎	議案第39号 上越市ガス水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○
議案第 8 号 令和 7 年度上越市介護保険特別会計予算	○	議案第40号 上越市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	◎
議案第 9 号 令和 7 年度上越市後期高齢者医療特別会計予算	○	議案第41号 上越市立学校条例の一部改正について	◎
議案第10号 令和 7 年度上越市病院事業会計予算	○	議案第42号 上越市リフレッシュビレッジ施設条例の一部改正について	◎
議案第11号 令和 7 年度上越市ガス事業会計予算	◎	議案第43号 上越市児童遊園条例の一部改正について	◎
議案第12号 令和 7 年度上越市水道事業会計予算	○	議案第44号 上越市海洋フィッシングセンター条例の廃止について	◎
議案第13号 令和 7 年度上越市下水道事業会計予算	◎	議案第45号 上越市川上笑学館条例の廃止について	◎
議案第14号 令和 6 年度上越市一般会計補正予算（第8号）	◎	議案第46号 上越市女性サポートセンター条例の廃止について	◎
議案第15号 令和 6 年度上越市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	◎	議案第47号 市道路線の認定について	◎
議案第16号 令和 6 年度上越市診療所特別会計補正予算（第2号）	◎	議案第48～49号 財産の取得について（ロータリ除雪車）	◎
議案第17号 令和 6 年度上越市介護保険特別会計補正予算（第3号）	◎	議案第50～52号 財産の取得について（除雪ドーザ16t 級）	◎
議案第18号 令和 6 年度上越市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	◎	議案第53～54号 財産の取得について（除雪ドーザ11t 級）	◎
議案第19号 令和 6 年度上越市病院事業会計補正予算（第3号）	◎	議案第55～56号 財産の取得について（小形除雪車1.3m 級）	◎
議案第20号 令和 6 年度上越市下水道事業会計補正予算（第4号）	◎	議案第57号 公有財産の減額貸付けについて	◎
議案第21号 令和 6 年度上越市ガス事業会計補正予算（第4号）	◎	議案第58～59号 公有財産の無償貸付けについて（南川児童館、くわどり湯ったり村）	◎
議案第22号 令和 6 年度上越市水道事業会計補正予算（第4号）	◎	議案第60号 財産の処分について	◎
議案第23号 上越市犯罪被害者等支援条例の制定について	◎	議案第61～62号 財産の無償譲渡について（旧大潟ふれあいセンター、いたくら亭）	◎
議案第24号 上越市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	◎	議案第63～71号 指定管理者の指定について（月影の郷、ヨーデル金谷、牧湯の里深山荘、吉川ゆたりの郷、柿崎マリンホテルハマナス、大潟健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館、吉川スカイヒア遊ランド、板倉保養センター、えしんの里記念館）	◎
議案第25号 上越市刑法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	◎		
議案第26号 上越市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	◎	報告第 2 号 専決処分した事件の承認について（令和 6 年度上越市一般会計補正予算（専第 4 号））	◎
議案第27号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	報告第 3 号 専決処分した事件の承認について（令和 6 年度上越市一般会計補正予算（専第 5 号））	◎
議案第28号 特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	報告第 4 号 専決処分した事件の承認について（令和 6 年度上越市一般会計補正予算（専第 6 号））	◎
議案第29号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正について	○	請願第 1 号 年金積立金を活用して安心して生活できる公的年金を求める請願	×
議案第30号 一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	◎	請願第 2 号 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める請願	×
議案第31号 職員の退職手当に関する条例の一部改正について	◎	発議案第 1 号 上越市議会個人情報保護に関する条例の一部改正について	◎

賛否が分かれた議案等、私はこう判断！

○：賛成　×：反対　－：議長（渡邊隆）は採決に加わらない。

	久比岐野							市民クラブ					つなぐ		みらい			日本共産党 議員団	公明党		無所属				審議結果 (賛成：反対)									
	降旗 太地	大島 美香	草間 和幸	安田 佳世	ストラット 恵美子	橋本 洋一	飯塚 義隆	江口 修一	熊倉 隆将	山本 佳洋	高山 ゆう子	小林 和孝	こんどう 彰治	本城 文夫	平原 留美	滝澤 陽一	関川 信之	宮崎 朋子	牧井 邦生	高橋 浩輔	櫻庭 節子	石田 裕一	平良 木哲也	上野 公悦		橋爪 法一	西沢 智子	山田 忠晴	伊崎 博幸	宮越 馨	丸山 章	滝沢 一成	渡邊 隆	
議案第5、10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	-	可 決 (27：4)
議案第6、8、9、12、 27～29、39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可 決 (28：3)
請願第1号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	-	不採択 (11：20)	
請願第2号	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	-	不採択 (11：20)		



討

論



討論とは、提案された議案等に対して、議員が賛成か反対かを表明するものです。討論の内容も踏まえて、採決に進みます。

市長提出議案に対して

贊成



石田裕一
(みらい)

昨年の診療報酬の改定や物価高騰等により、市内の医療機関は厳しい経営環境にあることを鑑み、上越総合病院への支援を強化したことなどを評価する。

贊成



熊倉隆将
(市民クラブ)

暮らしやすく希望あふれるまち・上越の実現を目指す予算になっており、周年記念が重なる令和7年をアニバーサリーイヤーとして予算編成したことなどを評価する。

反对



平良木哲也
(日本共産党議員団)

保育現場で何年も継続して非正規職員に頼っていること、議会や市民の理解を得られていないのに通年観光を進めるための予算が計上されていることなどから、10議案に反対する。

反对



宮越馨
(無所屬)

市長の顔が見えない予算だ。市長の政策の通年観光や、雁木通りを世界遺産に、子育て全国一などに相応しい大胆な予算が見当たらないので、2議案に反対する。

請願第1号・第2号に対して

贊成



本城文夫
(市民クラブ)

請願第1号に対して

年金などの社会保障制度は次世代の安心に繋がるような適正な再配分が求められる。低所得高齢者の年金に一定額を上乗せした給付を急ぐべきだ。

贊成



宮越馨
(無所属)

請願第 1 号に対して
 物価は平均 3.7%高騰している
 が、最低年金は 6 万円台の方もい
 る。少しでも改善に取り組むべき
 だと考える。

贊成



上野公悦
(日本共産党議員団)

請願第 1 号に対して

物価高騰に見合う年金支給額に改善することは、高齢者の暮らしを支えるのに必要なことである。

請願第 2 号に対して

核兵器禁止条約に加盟し、世界へ署名・批准を呼びかけるべきだ。

1月臨時会（1月31日）

- 令和6年度上越市一般会計補正予算等5件を審議
- ・国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、生活者・事業者支援を行うための経費を増額
- ・ふるさと納税等による寄附金の見込額の増加にあわせ、返礼品等所要の経費を増額
- 令和6年度予算規模 1,096億9,901万円

24人の視点

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、24 人が登壇し、論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋して掲載します。



皆さんは、どのテーマに関心がありますか？



● 櫻庭節子	農業の将来 / 道路舗装・区画線の修繕	} 11 ページ
● こんどう彰治	大雪被害 / 道路陥没 / レルヒ像のライトアップ	
● 滝澤陽一	住民組織 / ふるさと上越応援寄附金 / イノシシ対策	} 12 ページ
● 橋本洋一	財政 / 災害救助法	
● 草間和幸	スマート農業 / ふるさと納税寄附金 / 外国人市民の子どもの教育	} 13 ページ
● 関川信之	前島密翁生誕 190 年記念事業 / 上越沖表層型メタンハイドレート	
● 平原留美	移住定住 / 上越妙高駅周辺の企業誘致	} 14 ページ
● 高橋浩輔	小水力発電事業	
● 宮崎朋子	子ども教育	} 14 ページ
● 小林和孝	春日山の観光拠点施設	
● 山田忠晴	带状疱疹ワクチン	} 15 ページ
● 江口修一	上越地域医療センター病院 / 財政調整基金	
● 上野公悦	原発再稼働の県民投票 / 教員不足	} 16 ページ
● 熊倉隆将	創業支援・中小企業支援	
● 山本佳洋	原発再稼働の県民投票 / 閉校後の三郷小学校体育施設	} 17 ページ
● ストラットン恵美子	制服等のリユース / あそび主体の幼児教育	
● 伊崎博幸	H P V ワクチン	} 18 ページ
● 牧井邦生	洋上風力発電	
● 丸山章	ママ・パパ子育て応援ハウス / 上越地域医療センター病院	} 17 ページ
● 高山ゆう子	うみてらす名立 / 女性視点の防災・避難所運営	
● 安田佳世	地域独自の予算事業	} 18 ページ
● 平良木哲也	地域医療 / 化学物質過敏症	
● 橋爪法一	災害救助法	} 18 ページ
● 宮越馨	市長の政治姿勢・上越地域医療センター病院 / 市長の出处進退	

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。



上越市の農業の将来は
櫻庭 節子（みらい）



Q 収入が不安定であることや、国の農業に対する希望的な長期ビジョンが見えないことで、後継者不足に拍車がかかっている。農業県の代表として、国に「食料安全保障に対する取組の強化」を強く訴えるべきではないか。

A 当市は国の食料安全保障を担う重要なエリアであるとの認識の下、関係機関と連携して各種施策を推進すると共に、農業の振興に向け、国に必要な支援・協力を求めていく。

Q 若手農業者の声を聴くために、意見交換などは行っているのか。

A 研修会や勉強会等の機会を捉え、様々な分野の若手農業者と意見交換を行っていく。

道路舗装・区画線の修繕を早急に

Q 道路舗装の破損が多く、補修までの時間もかなり危険な場合がある。また、区画線も消えている箇所があるが、市の対応方針はどうか。

A 債務負担行為の設定や国の補正予算を活用し、雪解け後からの工事の着手に努めている。

Q 長期的な市道管理の方針を聞きたい。

A 今後の道路施設の急速な老朽化に対し、計画的な修繕や更新に取り組みとともに、コスト縮減につながる予防保全型の管理への移行も見据え、財源確保を図りながら、市道の適切な維持管理に取り組んでいく。



今冬の大雪被害等
への対応は
こんどう 彰治（市民クラブ）



Q 災害救助法が適用された地域以外でも住家が倒壊する恐れがあったため、県に対して適用基準の見直しを要望するべきではないか。

A 運用基準の見直しを働きかけていきたい。

Q 今冬は道路舗装の損傷が例年以上に多く見られた。パトロールや修繕方法を聞きたい。

A 合併前上越市では月2回、各区では月1回、職員と委託業者がパトロールを行っている。緊急性が高い損傷は、応急的にアスファルト合材を充填し、必要に応じてオーバレイを行う。

Q 上越妙高駅の市営駐車場では、排雪作業を行い、駐車スペースを確保するべきではないか。

A 委託業者と状況を共有し、適切に対応する。

Q 東口の短時間駐車場は、外国人も利用している。外国人向けの案内を掲出してはどうか。

A 令和7年度、英語表記の案内を掲出する。

八潮市の道路陥没を受けた当市の対応は

Q 令和7年度に予定している管路点検を、早急に実施できないか。

A 交付金の交付決定後、速やかに発注する。

レルヒ像のライトアップを

Q レルヒ祭を盛り上げるため、レルヒ像のライトアップの検討を行う考えはあるか。

A 実行委員会をはじめ、関係者と検討する。



住民組織存続に向けた
市の対応は
滝澤 陽一（つなぎ）



Q 地域自治区単位で組織されている、いわゆる住民組織の存続に向けて、支援や対策が必要と考えるがどうか。

A 住民組織が今後も区内全域において公益的な活動を維持・継続していけるよう、地域自治の在り方の一つの項目として、具体的な方策を検討・調整していく。

ふるさと上越応援寄附金の活用を

Q 寄附者は寄附金の使途を選ぶことができるが、地域自治区を特定した寄附項目を増やし、地域の活性化に向けた財源を確保するべきと考えるがどうか。

A 現状でも特定の地域自治区を指定した寄附は可能であり、地域独自の予算事業の財源として活用している。また、ふるさと納税のポータルサイトで寄附する場合でも、分かりやすい案内となるよう検討していく。

イノシシ対策の強化を

Q イノシシによる人身被害や、農作物被害に対する市の対策を聞きたい。

A 捕獲対策の強化、出没を抑制するための環境整備、人身被害の未然防止や出沒した際の対応・啓発を実施するとともに、更なる有効な対策について、情報収集と研究を重ねていく。

上越市の財政は大丈夫か
橋本 洋一（久比岐野）



Q 今冬の大雪災害では、市の貯金である財政調整基金35億円を取り崩しており、今後大きな災害があると基金が枯渇するおそれがある。計画的な歳入増加と歳出削減を進めていかないと市の財政が破綻する可能性があるが、具体的な施策について聞きたい。

A 財政調整基金は、地震や豪雪対応で取り崩しが多額になっている。現行の財政計画の最終年度である令和12年度には枯渇する可能性があり、危機感を持った財政運営を進めることが不可避である。歳入については、企業誘致を促進して税収を増やす、交流人口を拡大してお金を落としてもらうなどの施策を進め、歳出削減については、デジタル化で業務の効率化を進めると共に、必要性が低下した事業の見直しを図る。

災害救助法適用の運用基準の見直しは

Q 災害救助法適用の目安となる積雪深観測点については、平野部と山間部に設定され、その平均値で法適用の判断をしているが、現実的ではない。積雪の多い山間部は、山間部の積雪深で判断するよう県に働きかけるべきではないか。

A 県の防災担当者会議などで意見交換を行っており、対象地区の実情に応じて法適用を判断する考え方を含め、運用基準の見直しを働きかけていきたい。

市民と共に移住定住の機運を盛り上げて！
平原 留美（つなぐ）



Q 短期的な人口減少対策には、移住の促進が必要と考えるがどうか。

A 人口減少対策は、若者の進学等に伴う転出超過の抑制と同時に進める必要がある。

Q 市民と一緒に移住促進の機運を盛り上げていくべきではないか。

A 令和7年度から、地域住民と一緒に活動する定住支援コーディネーターを配置し、移住定住の促進に資する施策を展開していく。

Q 地域おこし協力隊について、これまでの定住・定着の状況をどのように評価しているか。

A 制度導入当初のミスマッチが解消されつつあることに加え、住環境等への支援が実を結び始め、一定の成果が挙がっている。

上越妙高駅周辺の企業誘致の方針は

Q 駅周辺の企業誘致の方針はどうか。

A 企業交流会や誘致イベントを通じて、より多くの企業とネットワークの構築を図るほか、不足するIT人材を地域で育成する取組にも力を入れ、更なる企業誘致の拡大を目指す。

Q 高齢者支援として健康で長生きできる予防医療・予防介護の先進企業（ベンチャー）を駅周辺に誘致するとした、市長公約の進捗状況はどうか。

A 具体的な話がある状況にはない。

スマート農業の普及に向けて
草間 和幸（久比岐野）



Q スマート農業の普及に向けた取組の成果と、今後の支援の拡充についての考えを聞きたい。

A 直近5年間で50台以上のスマート農業機械が導入された。現時点では更なる導入支援は考えてないが、国・県の支援制度を最大限に活用しながら、普及促進に取り組む。

Q ほ場整備の現状と、今後の見通しはどうか。

A 市内の水田の3割を超えるほ場の大区画化が実現している。引き続き、国・県・土地改良区等と連携して、促進に努める。

ふるさと納税寄附金の新たな使い道を

Q 寄附金の使い道の見直しについて聞きたい。

A 返礼品の約7割を農産品が占めるため、新たに「農業の振興」の項目を設ける。このほか、「大学等の応援」や「災害」、「医療」の項目を追加し、目標納税額10億円を目指す。

外国人市民の子ども教育は

Q 外国人市民の子どもに対する教育について聞きたい。

A これまでの支援に加え、日本語支援が必要な児童生徒が安心して学べる環境を提供し、義務教育終了後に希望する進路が実現できるよう、新たな学習支援に取り組み、よりよい教育環境の整備に努める。

小水力発電事業の導入で地域を元気に！
高橋 浩輔（みらい）



Q 地域資源を活用した再生可能エネルギー導入の意義を、どう捉えているか。

A 温室効果ガスの排出量やエネルギーコストの削減のみならず、エネルギーの地産地消による地域経済活性化や持続可能な地域づくりの促進、災害時の電力供給の確保、地域コミュニティの活性化といった様々な効果が期待できる。

Q 名立区における地域主導による小水力発電事業の導入可能性調査の結果と評価を聞きたい。

A 年間を通じて発電に必要な水量が十分確保できることが認められ、事業性が確保できる見込みとの評価を得た。

Q 導入に向けた課題や検討事項は何か。

A 地形に合わせた導水設備の再検討や、資金調達の手法、事業採算性の再調査等が挙げられるほか、地権者や農業関係者などとの事前相談の準備が重要となってくる。

Q 導入実現に向けての支援について聞きたい。

A 地元主体と話し合いを進めながら、様々な関係機関との間に入って具体的な協議を行うほか、基本設計に進むための仕様の検討などに参画し、側面的支援に取り組む。

Q 他地域から再生可能エネルギー導入の声があった場合、同様に支援していくか。

A 地域の実情を踏まえながら、同様に支援していきたい。

前島密翁生誕190年 記念事業の内容は
関川 信之（つなぐ）



Q 記念事業の具体的な内容について聞きたい。

A 実行委員会主体で令和7年9月に式典を行い、生誕地の下池部で地元中学生が創作劇を披露する予定となっている。

Q 大河ドラマへの採用に向けたキャンペーンを実施する予定はないか。

A 実行委員会では、大河ドラマの実現を活動の一つに掲げて具体的な取組を検討することとしており、NHK新潟放送局長が当市に訪れた際、ドラマ化を提案した。実現のためには市民の主体的で意欲的な取組と、市を挙げた機運の醸成が必要であり、関係団体と連携していく。

上越沖表層型メタンハイドレートの商業化を

Q 市民の関心を高めるための広報・啓発活動の取組について聞きたい。

A 県や関係機関とともに、イベントの開催や、子どもを対象とした出前授業、市民・企業向けの講演会における周知活動を行っている。

Q 将来の商業化を見据える中で、今後どのように取り組んでいくのか。

A エネルギー港湾として、直江津港の拠点性が更に高まるよう、継続的に国へ活用の要望を行うとともに、市全体でメタンハイドレートの関心が高まり、理解が広がるよう、引き続き広報・啓発活動に努める。

たくましく生き抜く子どもの育成に向けて
宮崎 朋子（つなぐ）



Q 当市における小学校の標準学力検査（NRT）の直近の結果と分析、課題を聞きたい。

A 全国平均と比べると、「知識・技能」は同程度だが、「思考力・判断力・表現力」は苦手な児童がわずかに多い。そのため、仲間と意見を交わしながら考えを深めたり、自分の考えを書きまとめたりするなど、「子どもが主体的に学ぶ授業」が求められることから、各学校の授業改善を引き続き支援していく。

Q GIGAスクール構想によって、小中学生の学びにどのような変化があったか。

A 全ての児童生徒がタブレット型情報端末でネットワークにアクセスすることで、「学びの深まり」が図られ、「学びの保障」と「学びの内容の蓄積」が可能となった。

Q 自ら気付付き、考え、想像力を働かせ、道を切り開くことができる、たくましく生き抜く子どもが増えることは、地域や社会を牽引する人材の育成や、まちの活性化の原動力強化にも大きく繋がると考えるが、学校での取組と、今後の教育委員会としての進め方を聞きたい。

A 全校共通の学校教育目標の下、小学校では地域に貢献しようという意識を、中学校では地域の活性化のために社会に参画しようとする意識を高める取組を行っている。引き続き、地域と共にある学校の教育活動を支援していく。

春日山地域観光拠点施設の最適地は？

小林 和孝（市民クラブ）



Q 観光拠点施設の候補地として、4か所を選定した理由を聞きたい。

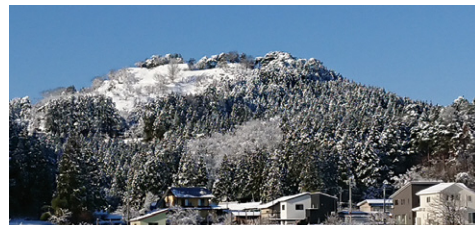
A 春日山観光の回遊拠点という位置付けを踏まえ、天候等により春日山城跡に行くことができる場合もその魅力を知ることができ、様々な移動手段でアクセスしやすい立地などの視点が重要と認識しているが、可能な限り地域の皆様の声を反映したものとなるよう、市民との意見交換で提案いただいた4か所を候補地とした。

Q 候補地決定までの検討事項は何か。

A 各候補地は、民有地であることや、文化財保護法により開発が規制されている史跡の指定区域内であるなどの課題がある。関係する方々のご意見を聞き、検討を進めている。

Q 候補地決定までのスケジュールを聞きたい。

A 現時点では埋蔵文化財センター周辺が最も適当と評価しているが、拙速に押し進めることなく、眺望や景観、他の施設とのアクセシビリティ、土地取得にかかる費用などの検討を深める中で1か所に絞り込み、令和7年度末までに基本構想を策定し、建設地を決定したい。



候補地の一つ、春日橋付近から春日山を望む

带状疱疹ワクチン接種拡大へ

山田 忠晴（公明党）



Q 带状疱疹ワクチンの定期接種化による、令和7年度の接種率をどの程度と想定しているか。

A これまで、市主体による接種実績がないため、同様に65歳から5歳年齢ごとに実施していた高齢者肺炎球菌ワクチン接種の実績を参考として、接種率を19%と見込んだ。

Q 接種率向上のため、带状疱疹に関する情報発信や疾患啓発、ワクチン接種推奨に向けた取組を予定しているのか。

A 広報上越や市ホームページによる周知に加えて、令和7年度の定期接種の対象者に対し、個別に通知を行うこととしており、その中で、接種を適切に判断いただけるよう、带状疱疹ワクチンの意義や予防効果、安全性などを詳細に示していきたい。

Q 带状疱疹ワクチンの定期接種化に合わせ、50歳以上で対象にならない方の接種費用も市独自で助成し、接種者の拡大を図れないか。

A 带状疱疹の罹患数が増えることなどの科学的知見に基づき、定期接種の対象年齢が65歳に決定したことから、他の任意接種と同様、助成を行う考えはない。



センター病院が支えていけるのか

江口 修一（久比岐野）



Q 基本計画を見直し、改築を2年後に先送りした場合、病院の改築費はどうなるか。

A 88億円から119億円になる見込みである。

Q 改築後の病院の収支見通しはどうか。

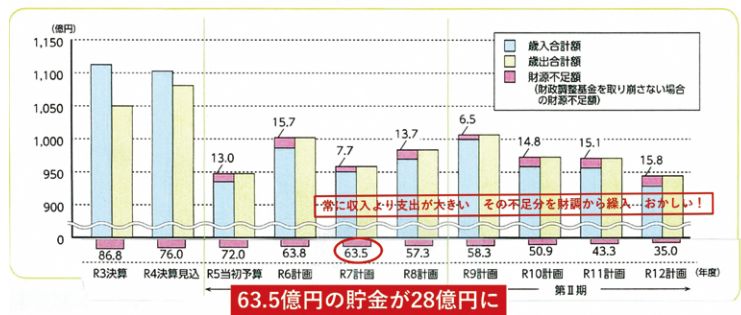
A 市の財政に長期にわたり重い負担をかけ、市民生活や行政サービスへの影響を与えかねないことを危惧している。そのため、最優先課題として経営改善に取り組むこととしている。

財政調整基金、28億円で大丈夫か

Q 市の貯金である財政調整基金が28億円で減少しているが大丈夫なのか。

A 財政計画における令和7年度末残高見込みと比較して36億円少なくなっており、今後の災害対応等を想定すると、決して安心できる残高ではない。

今冬の除雪費58億円（過去最高）貯金35億円取り崩し 貯金残高28億円 近い将来貯金が無くなる



原発再稼働の是非は 県民投票で

上野 公悦（日本共産党議員団）



Q 柏崎刈羽原発再稼働の県民投票条例制定を求める署名は、短期間にもかかわらず上越市で1万4,700筆、県全体では15万筆以上集まったが、市長はどう評価するか。

A 署名活動が行われたことは、原発の再稼働に対する市民の関心の表れの一つであるが、あくまでも県に対して条例の制定を求めるものであることから、私が意義を説いたり、考えを述べたりするものではないと考えている。

教員不足の解消に向けて

Q 全県的な教員不足や未配置、多忙化の状況をどう見ているか。また、教育現場は限界を超えているという認識はないか。

A 当市の市立小・中学校においては、教員の定数に対する不足は生じていないが、全県では60人不足している。代替の教員の確保は難しくなっていることから、教員の負担軽減に取り組む、教育活動を支援していく。

Q 当市の教員の休職状況はどうか。また、精神疾患や健康を害する状況にないか聞きたい。

A 私傷病休暇を取得した教員17人のうち、精神疾患は13人で、令和7年2月末時点では5人が休職している。教員のメンタルヘルスケア対策は喫緊の課題であり、今後も、県教育委員会と連携して取り組んでいく。

創業支援・中小企業支援の在り方は

熊倉 隆将（市民クラブ）



Q 令和7年度は創業者数の目標を増加させている一方で、創業スタートアップ支援補助金の予算が減額されている理由は何か。

A 本補助金は、創業塾の修了者や商工団体から支援を受けた者を対象としており、創業者全体を網羅するものではない。令和6年度の実績見込みを踏まえ、令和7年度は733万円を予算計上した。今後も補助金に限らず、関係機関と連携し、総合的に取組を進めることで、一層の創業の促進に努める。

Q 令和6年度の補助金実績と評価はどうか。

A 通常枠は11件、479万9千円で目標を上回った。一方、U・I・J・ターン女性活躍推進枠は2件、133万2千円と目標に届かなかった。引き続き、創業を支援する粘り強い取組を進めていく必要がある。

Q 中小企業者等イノベーション促進事業の予算が減額された理由は何か。

A 他の支援制度の充実や、先の見通しが難しい経済環境により、交付実績が年々減少しているためである。この実情を踏まえ、新たに「収益力向上・賃上げ環境整備補助金」を設け、支援水準の維持に努めているところである。



柏崎刈羽原発の是非 県民投票求める署名

山本 佳洋（市民クラブ）



Q 前回よりも署名数が増加していることを、市長はどう捉えているか。

A 市民・県民の関心の表れと認識しているが、直接請求の署名活動は住民の権利として地方自治法で認められているものであり、私が応援するものではない。

Q 原発の再稼働は、エネルギー問題だけでなく人権の問題でもあるが、どう考えているか。

A 防災訓練の実施、国・県や関係市町村との情報共有などに着実に取り組み、市民の安心安全・生命・財産を守っていく。

三郷小学校閉校後の体育施設開放の予定は

Q 閉校となる令和8年4月以降、現在体育館を利用している団体にはどう対応するのか。

A 体育施設としての活用は考えておらず、利用団体には、他の一般体育施設や学校体育施設を案内しながら、相談に応じていく。

Q すでに統廃合された学校の利活用に関する判断基準はあるのか。

A 閉校後の学校の校舎や体育施設の使用許可は、施設の安全性を考慮し、原則として行わない。体育施設の利用は微増傾向だが、総体的に充足していると認識している。今後も施設の広さや種目に応じた施設を紹介するなど、丁寧に対応していく。

**制服でつなぐ
やさしさの循環**
ストラットン恵美子（久比岐野）



Q 上越市一般廃棄物処理基本計画の基本理念に沿い、制服等のリユースを検討する保護者会や団体、企業等を積極的に支援してはどうか。

A 令和7年度は所得の少ない家庭の経済的負担軽減のため、高校の制服等を利用する事業を試行する。団体等から話があれば、どのような支援ができるかを検討する。



あそび主体の幼児教育が未来の社会を変える

Q 幼児教育について、市の考えを聞きたい。

A 市立高田幼稚園では、国の幼稚園教育要領で示す自立心や協同性などの「10の姿」の資質能力を考慮した非認知能力を伸ばす教育活動に取り組んでいる。また、各園の保育の参考にし、今後も幼児教育の質の向上や、幼保小の連携・接続への理解が深まるよう取り組む。

Q 小1プロブレム等の課題解決のため、文科省が令和4年から始めた幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指す「幼保小の架け橋プログラム」を当市でも導入する考えはないか。

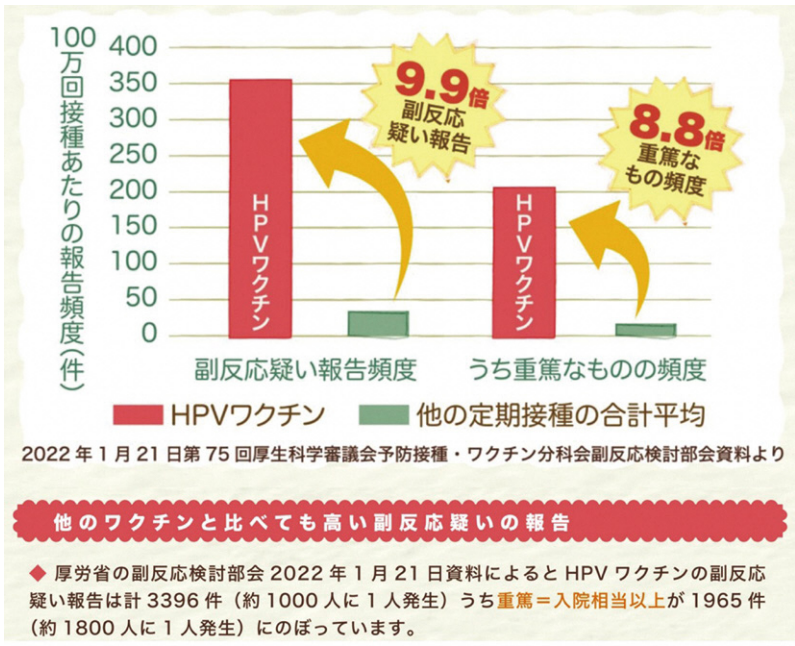
A すでに3つの小学校で実施しており、その成果と課題を踏まえ、幼保小合同研修の実施や校長会での説明を通して教育関係者の理解を深め、全ての小学校で取り組めるよう支援する。

**HPVワクチン
接種後の対応は**
伊崎 博幸（無所属）



Q HPVワクチン接種後の長引く不調などで悩まれている方に寄り添う対応について、どのように考えているのか。

A こども家庭センターは、国の定期接種に係る健康被害制度の窓口となっており、相談や申請のサポートを行う体制を整えている。



**洋上風力発電で歳入増
に先端企業誘致を！**
牧井 邦生（みらい）



Q 国際会議が重ねられ、現代は脱炭素化が国際規範となった社会と言えるが、宣言した通り、ゼロカーボンシティを実現する覚悟はあるか。

A 覚悟はあり、実現できるとの確信もある。市民に実現までの道筋を、定量的にわかりやすく示すことができるか。

Q 市民への説明は工夫が必要である。

A 公開された市の資料から計算すると、ゼロカーボンシティとは、市内電力を全て再生可能エネルギーに転換し、市内自動車全て電気自動車になった状態。市にできることは国が薦める洋上風力発電を導入することだと考える。

Q コスト、漁業資源、雷が課題で考えてない。

A 洋上風力で30万人の世帯電力を2年間賄ってきた秋田市を見る限り、それらの課題は全てクリアしている。事業のコストは全て有名企業が負担し、むしろ市に資産が増えるから歳入は増加する。漁業資源は傷まないため漁業を生業とする方からのクレームはなく、当市よりも雷被害が酷かった由利本荘市でも民間投資が決まった。また、昨年12月に石破総理が私の提案と内容を国策とする新聞報道がなされた。工場への再エネ供給は先端技術を持つ世界的企業こそ求めている、有望企業の誘致で有利だ。技術志向の市政に転換して経済を成長させて欲しい。

A 引き続き、調査研究を行っていく。

**提言「ママ・パパ子育て
応援ハウス」の設立**
丸山 章（無所属）



Q 子育てする夫婦・一人親世帯は、仕事の調整や睡眠不足等で心身の疲労を蓄積させ、様々な病気のリスクを高めるほか、夫婦間の亀裂の一因にもなりかねないため、手厚い支援の整備は欠かせない。子育て支援施設を統合し、次の内容で応援ハウスを設立してはどうか。①ワンストップで妊娠から子育ての事案に対応②ファミリーヘルプ保育園等に対応できなかった支援も行う③保護者の諸事情で乳幼児を預けた際、以後の対応は全て応援ハウスで行う④開設時間等の要望、希望を叶える⑤当市の南北に1箇所ずつ設置⑥国等のモデル地区指定を目指す。

A ファミリーヘルプ保育園、ファミリーサポートセンター、こどもセンターは、利用者の利便性の面で、それぞれの役割を十分果たしていることから、集約し新たに設置する考えはない。

センター病院改築をなぜ1年だけ先延ばし？

Q 1080万円の予算を投じ、専門家の助言指導を得てから改築したい意向だが、病院経営と改築は全く次元が異なる問題だ。後にも先にも病院経営を安定させる経営努力は行ってきたはず、なぜ同時並行で進められないのか。

A 令和8年度の改築に向けた準備期間と捉え、改築後の安定経営を見通すため、新たに専門家の助言指導を得て経営改善支援業務を実施する。

**道の駅うみてらす名立
早期リニューアルを！**
高山 ゆづ子（市民クラブ）



Q うみてらす名立は当市の西の玄関口であり年間30万人が利用する道の駅であるが、築24年が経過し老朽化が激しい。2年前の質問時、今後大規模改修すると答弁されたが進捗状況は。

A 施設の老朽化、施設機能見直しの他、経営面も勘案し検討している。この2年は機能変更も含め現状課題について指定管理者と議論してきた。今年は基本構想の準備、来年から具体的に話を進め、令和12年頃の大規模改修を目指す。



女性の視点で考える防災、避難所運営を！

Q 今回導入を決めたトイレカーは建設現場等で働く女性のために開発されたもので、容量的にも避難所のような多数の利用を想定していない。今後、車椅子対応や赤ちゃん連れ等に配慮したトラックタイプを導入できないか。併せて避難所に防災テントの配備を求めるがどうか。また、災害応援協定はどうなるか。

A 女性の視点を含めた提案について、しっかりと検討する。災害応援協定は今後となる。



**地域独自の予算事業を
より良いかたちへ！**
安田 佳世（久比岐野）



Q 補助上限額を新規提案事業は10分の7、既存事業は10分の9としているが、市の主要施策に沿った提案などについては、市が実施主体となつて直営での実施や業務委託、全額補助を行なったりする考えはないか。

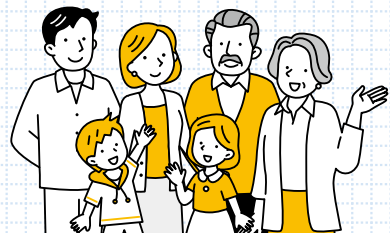
A 市の施設の運営と一体となつて取り組むもの、市の施策や既存事業の目的等と合致するため市の責任で実施することが適当なものについては、直営または業務委託等により取り組む。また、提案のあった区以外でも同様の事業を実施する場合や、他の区の対象者も利用できる事業は、市の事業として取り組む。

Q 新規提案の補助率上限10分の7は、直ちに見直すべきと考えるがどうか。

A 実施団体へのアンケート調査で、補助率を引き下げていった場合に多くの団体において取組の継続が困難になることが見込まれたことから、経過措置の期間を延長して10分の9に据え置いている。新規事業については、相談や提案を受け付けてきた中で、補助率上限が10分の7では取組を実施できないといった声がほとんどなかったことから、現行の制度を据え置くこととした。今後は、地域自治の活動を活性化するための財源支援の仕組みとして、補助率を設けない方策案を検討していく。

議会を傍聴しませんか

だれでも自由に
見たり、聴いたりできるんです



次の定例会は

令和7年 **6月3日** 火から

総括質疑	6月3日 火
委員会	6月4日 水 ～ 9日 月
一般質問	6月10日 火 ～ 13日 金
採決	6月17日 火

※日程は変更となる可能性があります。詳しくは、ホームページをご覧ください。



小林 広報広聴委員

議場・委員会室に行って傍聴する

●本会議の受付

市役所6階傍聴席前で傍聴受付票に記入してから入室してください。

●各委員会の受付

市役所5階委員会室に入室してから傍聴受付票に記入してください。

ライブ配信・録画を見る

●本会議の配信

専用サイトでライブ配信と過去の動画を配信しています。



●各委員会の配信

YouTubeでライブ配信と過去の動画を配信しています。



編集後記

市民の皆さんと距離を縮めるために議会報告会・意見交換会をリニューアルし、ご意見を聴く会・議員と気軽にトークとして再スタートして3年目になります。今回も緑の季節に皆さんの元におじゃまします。

また、小中学生の議会学習も10年目を迎えました。小中学生の皆さん、ぜひ見学にお越しください。お待ちしております。

小林 和孝

広報広聴委員会
委員長 ストラットン恵美子
副委員長 櫻庭 節子
委員 降旗 太地
西沢 智子
山本 佳洋
関川 信之
小林 和孝
上野 公悦
渡邊 隆



地域医療を守るには
平良木 哲也(日本共産党議員団)



- Q** 地域医療構想は身近な病院潰しではないか。限られた医療資源の活用が肝要である。
- Q** なぜ医師・看護師確保をしないのか。
- Q** 医師を増やす方策も成果を出しつつある。何年後に何人ぐらいまで増やすのか。
- Q** 具体的な数値目標等は持っていない。
- Q** 目標を持たないのでは希望ではないか。
- E** C D並みに増やす必要があるのではないかと地道に増やしていきたい。
- Q** センター病院の収支改善で設計は変わるか。
- A** 収支改善と設計内容は関係ない。赤字を減らしてからの改築が、最善の施策である。
- Q** 改築と経営改善を同時に行うべきである。
- A** 令和7年度は経営改善に取り組む。

化学物質過敏症への支援を

- Q** 化学物質過敏症の実態把握をしているか。
- A** 広い市民対象の実態把握は行っていない。
- Q** 正しい理解のために何をしているか。
- A** 乳幼児健診会場でポスターを掲示している。つまり、何もしていないと言うことではないか。
- Q** 職員の共通認識になる研修はできないか。
- A** 職員研修等については少しやっていきたい。
- Q** 教育委員会は以前、過敏症の児童生徒向けに特別支援学級を設置したが、現在はどうか。
- A** 現在はないが、必要があれば設置する。



豪雪時の災害救助法の適用は柔軟に
橋爪 法一(日本共産党議員団)



- Q** 内閣府の災害救助法事務取扱要領には、救助の基本的なことがすべて書いてある。雪の被害に遭って助けてという声が上がっているところはずべて救助するというのが基本ではないか。
- A** 要援護世帯除雪費助成制度の対象と、災害救助法の対象は同じだと思っている。労力、資力のない方が対象である。
- Q** 内閣府の事務取扱要領では経済的要件は課さないとなっている。そこは内閣府の統括官と一度話をしてほしい。令和7年2月に日本共産党新潟県委員会が内閣府と交渉した際、災害救助法の適用は旧町村単位にこだわることなく、全市適用でもいいという見解だった。これをやれば、災害救助法適用の歴史を変える政策転換になる。救助法には平等の大原則がある。原因が同じで、同じように苦しんでいる人にはすべて手を差し伸べる、これは救助の大原則だ。県とも話して、内閣府とも連絡を取りながら、ぜひ実現してもらいたい。
- A** やれることはやっていきたい。



市長の政治姿勢・センター病院は即着工
宮越 馨(無所属)



- Q** 市長の政治姿勢について、なぜ嘘の政治をするのか。私との選挙協定である「政策協定」をなぜ守らないのか。私のノウハウを生かす態勢を作らなかつたから、財政運営も行き詰まり大変なことになっている。このままでは財政破綻となる。税源涵養はしないのか。副市長を4人制にして自分はトップセールスするとしているが、陳情がトップセールスとはあきれ返っている。一体、何をしようとしているのか。
- A** 方向性が同じものはやろうと思っている。
- Q** 老朽化が著しい(昭和31年の部分もある)センター病院は、直ちに改築に着手すべきだ。リハビリ棟を残し、敷地内に新築するのだから、病院経営しながら別棟として建て替えは何も問題はない。直ちに建築すべきだ。改築費用に対し合併特例債を使おうとしないのはおかしい。利用期限内に使わない場合は市民負担の増加につながる。また、直江津の新潟労災病院は形を変えて残すべきだ。市が直接労働者健康安全機構から移譲を受け、センター病院の分院として病院施設を継続すればよいではないか。
- A** センター病院の着工は2年後としたい。
- Q** 議会からの辞職勧告を受けた出処進退は
- A** 市長の出処進退を聞きたい。任期いっぱい職責をまっとうしたい。

上越市議会

ご意見を聴く会・ 議員と気軽にトーク

あなたの「気付き」がまちを動かす力になります
上越市のこと一緒に話してみませんか

申込不要
どこでも
参加OK

5/8 木 ご意見を聴く会
18:30-20:00 ユートピアくびき希望館

5/9 金 ご意見を聴く会
18:30-20:00 清里コミュニティプラザ

5/10 土 議員と気軽にトーク
10:00-11:30 直江津学びの交流館

ご意見を聴く会とは

3月定例会の議会報告と意見交換を行います。今回は上越市議会の議会改革についても報告します。

議員と気軽にトークとは

意見交換をします。市政について、日頃の思いを議員と気軽に話しましょう。

